

## 回復のスピードには個人差があります

この病気の経過は人によってさまざまで、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら徐々に回復していきます。数ヶ月～数年という長い目でゆっくと焦らずに見守っていくことが大切です。

### 前駆期

発症前には何らかの兆候がみられます。

- 睡眠障害
- 感情の起伏
- 焦りの気持ち
- 身体的な不定愁訴
- 神経症状

### 急性期

幻聴、妄想、思考の混乱、興奮などの激しい症状がみられます。本人に病識がないのが特徴です。

- 不安緊迫感
- 幻聴
- 被害妄想
- 減裂
- 興奮
- 奇異な言動

### 回復期

急性期の精神状態が治療により治まった後の疲れきった心身を回復させるための充電期間。

- 過度の眠気
- 意欲低下
- 倦怠感
- 甘え

### 慢性期

急性期の症状が治まった後にも、病的な症状が持続する時期。精神機能全般にわたるエネルギーの低下が特徴です(陰性症状)。陽性症状が消失せず長く続くこともあります。

- 活動性の低下
- 周囲への無関心
- 感情の欠如

時間の経過

### 焦らずゆっくり治療を続けましょう

この病気は、きちんと治療を続けていけば繰り返す頻度は少なくなり、人によってはかなり良好な状態にまで回復することが可能です。そのためには、患者さんも家族も焦らずにゆっくり、病気と気長につき合っていくという姿勢が大切です。

